

# 患者さんへ

## 「進行非小細胞肺癌に対するPD-1阻害薬投与後の化学療法の有効性や安全性を検討する後方視的多施設研究」について

### 【研究概要】

神戸低侵襲がん医療センター(以下当院とします)腫瘍内科では、非小細胞肺癌で治療された患者さんのうち、初回に通常の抗がん剤治療を実施された後の治療で

- ① 2番目の治療としてPD-1阻害薬の投与を受けた後に、3番目の治療として従来の化学療法を受けた患者さん
- ② 2番目の治療として従来の化学療法を受けた患者さん

において、治療を実施された患者さんのデータをもとに①と②の間で有効性（効き目）と安全性について、比較検討する研究に参加しております。

この研究は、既に治療を実施された患者さんのデータを検証するもので、新規に患者さんへお願いする事はありません。この調査研究について質問等ありましたら、最後に記載しております【問い合わせ窓口】まで、遠慮なくご連絡ください。

### 【研究の対象となる患者さん】

①の2番目の治療としてPD-1阻害薬の投与を受けた後に、3番目の治療として従来の化学療法をうけた患者さんについては、2015年12月1日から2017年7月31日の間で、当院で治療をされた患者さん

②の2番目の治療として従来の化学療法を受けた患者さんについては、2014年4月1日から2017年7月31日の間で、当院で治療された患者さん

すでに治療されたデータを見せていただくので、新規に患者さんに何かをお願いする事はありません。

### 【取り扱うデータ】

患者さんの年齢、性別、病気組織の種類、がん細胞の遺伝子変異の有無、治療を行った際に使用した薬剤名、回数、有効性（効き目）、安全性（不都合な症状の発生）な

ど、本研究では、既に治療を行った患者さんのカルテ（診療録や画像データ等）から研究に必要な情報を抽出し、解析いたします。

【個人情報保護の方法】

個人情報、データ等は、正確になおかつ検証が可能なように記録・保管します。登録患者の同定や照会は、主に登録時に定められた症例登録番号を用いて行われ、患者さんのお名前など、第三者が直接患者さん本人を識別できる情報がデータベースに登録されることはありません。

【研究参加による利益・不利益】

利益・・・ 本研究により対象患者さん個人には特に利益と考えられることはございませんが、本研究の成果により、今後治療を行うがん患者さんがより安全に治療を受けることができる可能性があります。

不利益・・・ 一連の治療の中での必然的な記録だけを解析するものであるため、特にございません。

【研究参加の取り止めについて】

いつでも可能です。

参加を辞退されたい場合には、下記【問い合わせ窓口】 までご連絡ください

【研究責任医師（又は研究責任者）】

神戸低侵襲がん医療センター 腫瘍内科 医師 岡田 秀明

連絡先:078-304-4100

【問い合わせ窓口】

神戸低侵襲がん医療センター 腫瘍内科 医師 岡田 秀明

連絡先:078-304-4100

\*本研究は、西日本がん研究機構（WJOG）を通じて実施されております。試験内容につきましては、該当機構のホームページ（<http://www.wjog.jp/>）でもご確認いただけます。